



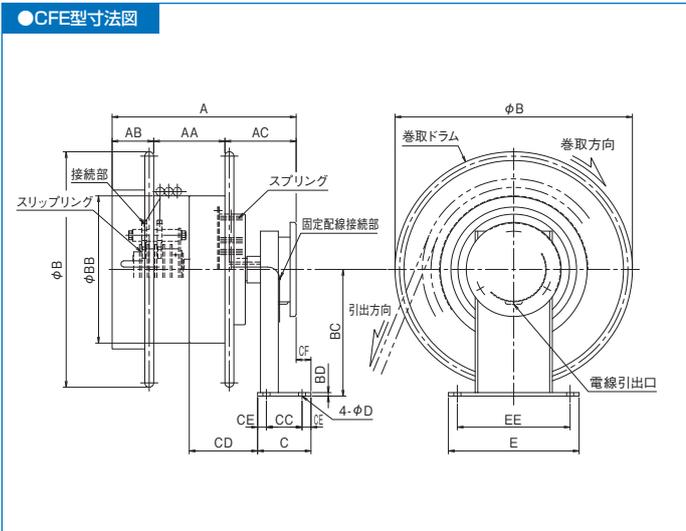
型式説明

例

# CFE06-34BD1

- ↑ スプリングのシリーズ(直列)接続数 (1本)
- ↑ ドラム円板の大きさ (φ400) 【A=φ200 B=φ250・・・】
- ↑ ドラム巻胴の大きさ (φ250) 【A=φ200 B=φ250・・・】
- ↑ スリップリング極数 (4極)
- ↑ 電流容量 (30A) 【1=15A】
- ↑ 最大トルク (0.6kgf・m) {5.9N・m}
- ↑ スタンド形状 (片スタンド型) 【D=両スタンド型 P=箱型 F=フランジ型】
- ↑ リールタイプ (ケーブルリール) 【H=ホースリール W=ワイヤーリール】

●CFE型寸法図



オートマテックリール

●CFE型オートマテックケーブルリール

機種選定表

水平地上拾い巻取り (振分け移動 or 片側移動のみ)	ケーブル仕様			巻取り長さ (m)	型式	
	2PNCT(mm <sup>2</sup> )	外径(mm)	質量(kg/m)			
	4C	1.25	11.5	0.19	6	CFE03-14BC1
					12	CFE06-14BD1
		2.0	12.5	0.24	6	CFE03-14BC1
					12	CFE06-14BD1
		3.5	14.5	0.35	20	CFE1.2-14CE1
					5	CFE03-34BC1
	6C	5.5	17.0	0.51	12	CFE06-34BD1
					20	CFE1.2-34CE1
		8.0	18.5	0.65	14	CFE1.2-38CE1
					12	CFE03-16BC1
		1.25	13.5	0.25	6	CFE03-16BC1
					12	CFE06-16BD1
8C	2.0	15.0	0.32	20	CFE1.2-16CE1	
				5	CFE03-16BC1	
	3.5	17.5	0.47	10	CFE06-16BD1	
				18	CFE1.2-16CE1	
10C	1.25	16.0	0.34	12	CFE1.2-36CE1	
				5	CFE03-18BC1	
	2.0	17.0	0.41	10	CFE06-18BD1	
				15	CFE1.2-18CE1	
1.25	18.0	0.42	14	CFE1.2-110CE1		
			12	CFE1.2-110CE1		

- リール移動・拾い巻取りはリールの取付け高さ1m以下での選定となります。
- 表中の型式はリール本体サイズの目安です。使用するスリップリングの極数・容量により型式を決定します。
- 使用頻度が高い場合は耐屈曲性ケーブルを使用してください。
- ご使用方法、ケーブルサイズ、使用条件等により、選定機種が変わります。ご照会の際は巻末のオーダーシートをご利用ください。